

思いやりあふれる風が吹く



ASAHI UNIV.

NO. 24

2011.AUGUST

ぶらざ村上

発行日/平成23年8月1日 企画編集/広報委員会

- 充実した老後を過ごすために～健康寿命について～ 副病院長 日下 義章 …………… 2
- 女性の病気 婦人科教授 藤本 次良 …………… 3
- 命に直結する呼吸器内科 呼吸器内科 教授 栗林 康造 …………… 4
- わが国の透析療法の現状 血液浄化センター センター長 大野 道也 …… 4
- 新任紹介 …………… 4・5
- 災害支援ナースとしての活動報告 看護部 河合 裕子・梅田 康子 …………… 5
- 2011年春の防災訓練実施について 管理課 鈴木 総一郎 …………… 5
- 看護週間開催 看護部 神谷 恵子 …………… 5
- IVR-CTの紹介 放射線室 谷口 拓矢 …………… 6
- 市民公開講座「がん治療の最前線」を開催しました 管理課 鈴木 総一郎 …………… 6
- 病院ボランティアによる車イスの清掃点検 病院ボランティア支援室 藪下 勉 …………… 6
- シリーズ 健診センター便り 総合健診センター 副センター長 出口 富美子 …… 7
- シリーズ 医食同源～腎臓食～ 栄養管理室 高橋 貞子 …………… 7
- 診療医ご案内 …………… 8



2011年4月に開設した「婦人科」の藤本教授

充実した老後を過ごすために

健康寿命について



副院長
日下 義章

「健康寿命」という言葉をご存知でしょうか。これは日常的に介護を必要とせず、自立した生活を送れる生存期間

のことであり、世界保健機構(WHO)が2000年にこの言葉を公表しました。2004年に公表されたデータですが、日本人の健康寿命は男性で72.3歳、女性で77.7歳、全体で75.0歳であり健康寿命の平均値は世界第一位のことでした。日本人に生まれて良かったと思う方が多いのではないのでしょうか。人間には必ず寿命があるわけですから、それまでの間、可能な限り元気に生活してコロリと逝く、いわゆるピン・ピン・コロリの人生を誰もが望んでいます。

日本は国民皆保険制度や高度な医療技術、そして日本独自の食生活や健康に対する意識の高さのおかげで世界一の長寿国となりました。しかし、日本人の平均寿命(男性79.3歳、女性が86.0歳)と健康寿命の差を考えると、男性で約7年、女性で約8年間は何らかの介護を要する状態になることを意味します。これから日本の平均寿命はさらに長くなるという予想もありますが、大切なことはそれ以上に健康寿命を延ばすことにあると思います。

健康寿命を延ばすにはどうすれば良いでしょうか。私が専門とする整形外科の立場から言えば、健康寿命の大敵は骨粗鬆症による脊椎(背骨)の圧迫骨折と大腿骨の頸部骨折(股関節付近の大腿骨の骨折)、そして膝や股関節における関節の病気です。これらの病気が原因となり寝たきりになる割合は全体の約18%とされています。

骨粗鬆症の治療薬は近年大きく進歩しました。今までの骨粗鬆症の治療薬には、骨密度が加齢とともに低下する速度を遅らせる程度の効果しかありませんでしたが、最近の薬では骨密度を増加させる効果があることが明らかにされています。骨粗鬆症が改善すれば脊椎の圧迫骨折により腰や背中の痛みが強くて歩けない患者さんの数は減少することが期待できます。実際には減少傾向にあるように思います。

大腿骨の頸部骨折も骨粗鬆症の改善により減少することが期待できます。しかし、実際は平均寿命が伸びているため、特に高齢の患者さんの数は増加しているように思います。最近の骨折患者さんの年齢分布では80歳代は普通であり、90歳代も多く、100歳代の方もおられます。この骨折は原則的に手術を受けなければ歩けるようにはなりません。しかも、受傷後出来るだけ早期に手術をしなければ、数日の間に筋力が低下し、その後の歩行能力は大きく低下します。同時に認知症も急速に進行します。この骨折は介護が必要になる大きな原因として、社会的な問題となっているのです。村上記念病院では受傷前の歩行能力を再獲得することを目的として、可能な限り早期に手術してベッド上で動けない期間を短縮することを治療方針として病院一丸となり、大きな成果を挙げています。

膝関節や股関節の病気も要介護の原因となる重要な病気の一つです。よく「私のような高齢では手術は出来ないうえ」と言っておきながら、患者さんがおられますが、決してそのようなことはありません。心臓や肺の機能が悪ければ手術が困難な場合がありますが、大部分の患者さんで手術は可能と思います。老後を前向きに生きたいと考えるの

であれば、ご相談いただければ前向きに対応させていただきます。

ここまでは私が専門とする整形外科の話を中心に進めましたが、統計的には健康寿命の最大の敵は脳梗塞や脳出血など脳神経外科の病気であり、寝たきりになる原因の約39%を占めると言われています。脳血管の病気の治療は時間との勝負です。村上記念病院では8月から脳神経外科医が交替で常時病院内に待機し、迅速かつ高度な治療が可能な体制を整えます。脳血管疾患による後遺障害を出来るだけ少なくする上で画期的な取り組みと言えます。

この他にも老後の大敵は認知症や心臓疾患など色々ありますが、介護を要するような状態にならないために最も重要なことは、予防的な医療を受けることです。究極の医療は高度な技術を要する手術や治療をすることではなく、病気になる前または病早期にこれを防ぐことにあるのです。村上記念病院では総合健診センターがその役割を担っています。通常のドックに加えて脳ドックや抗加齢ドックなど種々のコースを用意して皆様の要望にお応えします。

村上記念病院では4月から腎臓内科の大橋宏重教授、婦人科の藤本次良教授、呼吸器内科の栗林康造教授をお迎えしました。今後とも病院の総力を挙げて皆様の幸せな老後に貢献したいと考えております。



女性の病気



婦人科教授
藤本 次良

平成23年4月に婦人科を開設させていただきました。これまで腫瘍専門医として、卵巣腫瘍、子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌、子宮肉腫、

卵巣癌、外陰癌、陰癌などの治療に励んでまいりましたが、腫瘍のことはまたの機会にし、今回は、生活に密着した女性の病気をとお話いたします。

卵巣、子宮、膣、外陰など女性特有の臓器はホルモンの影響を受けて、様々な働きをしています。したがって、思春期、成熟期、更年期、老年期によって、病気の趣が異なります。そこで、女性の一生に沿って、女性の病気を紹介させていただきます。まず、月経異常の一つで、月経が来るべき年齢になっても、月に一度腹痛は起るが、月経が一度も来ないという女性が稀にいます。これは、月経血を排出する経路すなわち子宮外陰膣の形態異常がある場合です。思春期において、月経はあったが、なくなってしまうという女性はかなり多いです。敵しいダイエットや激しい運動によることが多く、ご本人やご家族とは摂食障害と関連していることが多くありますが、特に前者はゆとりとお話をさせていただき、適切な解決策を考えます。また、肥満をとまなつ無月経の女性では、多毛、にきび、声の低音化や糖尿病を合併する病気(多嚢胞性卵巣症候群)を意識する必要があります。近年、女性は脱毛していることが多いため、診察時確認させていただきます。思春期周辺としては、子宮頸癌ワクチンが話題となっています。ワクチン接種をしていただくと、現時点ではヒト乳頭腫ウイルス16・18型

に対して、20年程度の感染防御ができる可能性があります。子宮頸癌検診はワクチン接種後であっても受けていただくことをお勧めします。疾患ではありませんが、成熟期の関心事の一つに避妊や月経シフトがあります。十分お話を聞きし、適切な方法を選択します。ホルモン剤を使用する場合には(十分な種類を取り揃え)その特徴を熟知して、処方する必要があります。月経時、お腹や腰が痛くて日常生活に支障があるという病気、月経困難症も日常的な病気ですが、原因が子宮内膜症の場合があり、骨盤MRI(または腹腔鏡)にて子宮内膜症に含まれる病気であるチョコレート嚢胞や子宮筋腫などを把握する必要があります。子宮内膜症は月経がある年齢では完全に治ってしまうことは難しいですが、かなり改善することができます。ゆとりとお話を聞きして、混乱していた情報を解きほぐすように心がけています。また、性行為ができないという女性もしばしばあります。子宮内膜症などが原因の場合もありますが、そうでない場合の方が多いです。パートナーやご家族を含めた粘り強いカウンセリングが基本治療で、しばしばホルモン治療がよく効きます。子宮筋腫などが原因で月経の量が増え(過多月経)、驚くほどの重症貧血になることがあります。重症貧血によって、心臓が悪くなることもあるので早急な対応が必要です。閉経期周辺、更年期障害によって突然暑さを感じ、汗をたくさんかく、ホットフラッシュで困っている女性もしばしばあります。ホットフラッシュはホルモン治療がよく効きます。うつ、不安、睡眠障害がある女性には、まず食事や運動、さらには睡眠を含めた生活習慣の見直しをお願いし、不十分な場合には薬を処方します。抗うつ薬の効果は思わしくないとときは、精神科医と相談の上、追加もしくは別の抗うつ薬へ変更する場合があります。また、心や社会との関わりが主な原因の場合や、薬が効きにくい場合はお話を聞きする治療を主にすることもあります。更年期、外陰部が痛いという女性もしばしばあります。女性ホルモンの不足によって、外陰や膣の表面が薄くなり、軽度の刺激でも

疼痛を感じます。女性ホルモンによって表面をいくらか厚くし、分泌物によって保護する女性ホルモン補充療法がよく効きます。また、膣や子宮が脱出してくる子宮脱になる女性もしばしばあります。子宮脱では通常膀胱や直腸も同時に脱出してくるため、尿失禁や残尿など排尿障害を起こすことが多いです。ペッサリーによる治療や手術によって子宮脱は治っても、尿失禁及び排尿困難が増患することがあります。よく相談してください。

以上、女性の一生に沿って、女性は様々な病気にかかりますので、皆様が少しでも何か違和感を感じる事があれば、是非婦人科にご相談ください。ゆとりとお話を聞きして、生活習慣に埋もれた病気を拾い上げて行く所存です。よろしくお願いたします。

病院の理念

朝日大学歯学部附属村上記念病院は、信頼性の高い医療の提供と充実した予防医学により社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立った医療を行います。
2. 高度で安全質の高い医療を行います。
3. 安全・高度な歯科医療を医科と連携して行います。
4. 地域と連携して、きめ細やかな医療サービスを提供します。
5. 健康管理と生活習慣病の予防に努めます。
6. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。

患者さんの権利

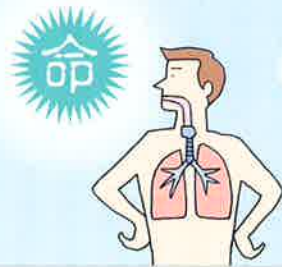
1. 一人一人の人格や価値観を尊重した医療を受けること。
2. 高度で良質・安全な医療を受けること。
3. 十分な説明と情報提供を受け、自分の意思で治療法などを選択すること。
4. 個人情報保護されること。
5. 他の医師の意見やカンドオピニオンを求めること。

2010年6月1日改正

命に直結する呼吸器内科

呼吸器内科 教授 栗林 康造

当院の呼吸器内科は、2011年4月から3人の呼吸器内科医が着任し、診療体制の整備と強化を図ることとなりました。私たちの生命を維持する「呼吸」という大切な役目を果たす、「気管支、肺、肺内血管系」の臓器を総称して「呼吸器」と呼びます。外界と直接交通を持つ「呼吸器」は生死に密接にかかわる重要臓器です。呼吸器内科では、そのような呼吸器系に生じる疾患全般を対象に診断・治療にあたります。



具体的に対象疾患を左記に列挙いたします。

1. 呼吸器悪性腫瘍：肺癌、悪性胸膜中皮腫など
2. 慢性閉塞性肺疾患（COPD：たばこ病）：肺気腫、慢性気管支炎など
3. アレルギー性肺疾患：気管支喘息、薬剤性肺疾患など
4. 間質性肺疾患：間質性肺炎（リウマチ肺）、サルコイドーシス、塵肺（職業性肺疾患）など
5. 炎症性肺疾患：気管支炎、細菌性肺炎、誤嚥性肺炎など
6. 呼吸不全：様々な原因で生じた呼吸不全に対する人工呼吸器療法
7. その他の肺疾患：睡眠時無呼吸症候群、原発性肺高血圧症、慢性肺血栓塞栓症など

以上の多彩な呼吸器疾患に対して、まずは専門性を語るのではなく、どのような疾患に対しても質の高い医療を提供し、「命に直結する呼吸器内科」の診療に全力で従事いたします。

外来（月）から（土）の毎日 初診及び予約外来を開設しております。

スタッフ紹介

教授 栗林 康造 日本内科学会【認定医・指導医】

日本呼吸器学会 呼吸器専門医

日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医

日本がん治療認定医機構【認定医・暫定教育医】

日本アレルギー学会 専門医

日本医師会 認定産業医

日本内科学会 認定医

日本内科学会 認定医

助教 野木 佳孝

日本内科学会 認定医

日本呼吸器学会 認定医

日本アレルギー学会 認定医

日本医師会 認定医

日本内科学会 認定医

日本呼吸器学会 認定医

日本呼吸器学会 認定医

わが国の透析療法の現状

血液浄化センターセンター長 大野道也

2009年12月末において我が国における透析患者数は29万人で、毎年約1万人ずつ増加しています。おそらく2010年12月末には、30万人前後になったと思われる（近々発表されます）。透析療法には血液透析と腹膜透析がありますが、約96%の患者さんが血液透析を選択されています。岐阜県では約4200人が透析療法を受けておられます。生活習慣の変化により、糖尿病が増加し、1998年に糖尿病性腎症が新規透析導入患者の第1位となり、その後も数は増加しています（2009年末において44.5%が糖尿病性腎症による新規透析導入）。一方で高齢化社会を反映して高血圧に基づく腎硬化症が徐々に増加し、透析導入平均年齢も2009年は65.8歳と10年前と比較すると5歳導入年齢が上がっています。それに伴い、通院透析が困難となっている患者さんも増えています。また、長期透析患者さんも増加し、心・血管合併症（特に心機能の低下）による透析時の血圧低下、いわゆる「透析困難症」の患者さんには透析時間の延長などよりきめの細かい透析を行わなければならない場合も多くなっています。透析前から専門医に入院して透析を導入することは透析後の予後に影響を与えることが報告され、特に高齢化している透析導入患者さんには日常生活動作を落とさないように透析導入していくことも重要となっています。

当院においては、透析導入患者さんの増加に伴い、診療体制を再整備しながら本年5月中旬から火・木・土曜日午前の透析を再開いたしました。今後さらに病診連携しながらこの地域の透析医療を担っていくべく、透析体制を整備していきますのでご支援のほどよろしくお申し込み申し上げます。



新任紹介



呼吸器内科 医師
野木 佳孝
(のぎ よしたか)

呼吸器一般を担当させていただきます。よろしくお願いたします。

(2011年4月1日 赴任)



外科 准教授
森 章
(もり あきら)

消化器、特に肝臓、胆嚢、膵臓疾患が専門です。「理性をもって病と闘い、心をもって患者を支える」がモットーです。

(2011年4月1日 赴任)



呼吸器内科 教授
栗林 康造
(くりばやし こうぞう)

肺癆、たばこ関連疾患、アレルギー疾患など、呼吸器内科を担当させていただきます。よろしくお願いたします。

(2011年4月1日 赴任)



婦人科 教授
藤本 次良
(ふじもと じろう)

婦人科診療を始めました。少しでも気になることがあれば、ご相談ください。

(2011年4月1日 赴任)



腎臓内科 教授
大橋 宏重
(おおはし ひろしげ)

検尿異常から透析導入・維持まで対応させていただきます。よろしくお願いたします。

(2011年4月1日 赴任)

災害支援ナースとしての活動報告

看護部 河合 裕子・梅田 康子

2011年3月11日(金)、東日本大震災が発生しました。現地で被災者の看護を行う「災害支援ナース」の派遣が3月21日(月)から始まり、当院も日本看護協会からの要請を受け、4月22日(金)から25日(月)までの間、看護師2名が災害支援ナースとして避難所へ向かいました。向かった先は、震災あるいは原発による被災者が避難生活を余儀なくされている福島県郡山市でした。現地での主な活動内容は①感染観察室の運営②救護所の心援③入所者の健康チェック



2011年春の防災訓練実施について

管理課 鈴木 総一郎

2011年6月15日(水)、大地震発生を想定した春季防災訓練を実施しました。当院では、大地震などの災害が発生した場合に備え、自衛消防組織を編成しておりますが、昨年に当該組織の一部見直しを行い、病院全体の防災を司る「本部組織」に加え、病棟やフロアなどの各部署で防災活動を迅速に行えるよう「地区組織」を編成いたしました。それぞれの「地区組織」において、被災状況

や出火状況の確認、出火した場合の初期消火や被災者の救護、避難等に対する防護措置や避難誘導などを適切に行うことができるよう担当者を任命しており、今回の訓練は、「本部組織」はもとより、「地区組織」における各担当者の活動が適切に行うことができるよう実施



看護週間開催

看護部 神谷 恵子

5月12日は、「看護の日」です。フロールens・ナイチンゲールの誕生日にちなみ制定されました。当院では、5月9日(月)～13日(金)までを看護週間とし、部署紹介ポスターの掲示や健康相談を行いました。健康相談では、「ウェルスクラン」という医療機器を使用し体成分分析を行いました。体脂肪率や筋肉量、腹部肥満評価などがわかり、日頃の生活習慣を見直すきっかけになったと思います。

5月11日(水)は、午後からAED講習会を開催しました。参加者からは「実際に心臓マッサージをやってみると難しい、大変なのがかった」、「AEDの使い方がよくわかった」などの声が聞かれ、有意義な講習会でした。多数のご参加ありがとうございました。夏には、高校生を対象に「ふれあい看護体験」を実施します。



新任紹介



整形外科 医師
山賀 篤
(やまが あつし)

整形外科疾患を担当いたします。よろしくお願いいたします。

(2011年7月1日 赴任)



整形外科 医師
塚田 誠
(つかだ まこと)

整形外科疾患を担当いたします。よろしくお願いいたします。

(2011年7月1日 赴任)



初期臨床研修医
矢ヶ崎 礼香
(やがさき あやか)

初期臨床研修医として色々な科でお世話になります。よろしくお願いいたします。

(2011年4月1日 赴任)



脳神経外科 医師
辻本 真範
(つじもと まさのり)

脳神経外科一般を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

(2011年4月1日 赴任)



呼吸器内科 医師
三上 浩司
(みかみ こうじ)

呼吸器疾患を担当させていただきます。よろしくお願いいたします。

(2011年4月1日 赴任)

IVR-CTの紹介

放射線室 谷口 拓矢

このたび当院ではIVR-CTを導入いたしました。IVR-CTとは血管撮影装置とCT装置が一体となった医療機器です。

どちらか一方の装置ではわかりにくい細かな血管や腫瘍を、両装置の組み合わせによってより明瞭に描出でき、正確な診断と治療を同時に行うことが可能となりました。また、それぞれの撮影室への患者移送がなくなったことで、清潔状態を保つまま、短時間に各装置の優れた画像情報を繰り返し得ることもできます。

装置の性能として、パルスX線透視により被ばく線量を抑えた血管撮影装置にフラットパネルディテクターが装備され、広い視野と歪みの少ない画像を得ることが可能です。脳動脈など複雑な血管走行に対しては、3D血管造影や回転撮影を実施したり、肝細胞癌の動注療法においては16マルチスライスCTを併用することでより安全に正確な治療を行うことができます。



IVR-CTを用いたカテーテル治療は病気の部分だけを正確に治療することができ、そのため、身体にあたる負担が少なく、外科的手術に耐えられない高齢者などには特に有効です。当院では主に肝細胞癌の治療や脳動脈瘤の塞栓術、頸動脈ステント留置術などを行っていますが、それ以外でも様々なケースにおいて最適な治療を行うことができる優れた医療機器です。

市民公開講座「がん治療の最前線」を開催しました

管理課 鈴木 総一郎

2011年2月12日(土)、JRR岐阜駅西の「じゅろくプラザ」で、「市民公開講座」を開催いたしました。

本公開講座は、朝日大学創立40周年記念行事の一環として、岐阜県医師会、岐阜市医師会、岐阜新聞・岐阜放送、中日新聞社の後援により行われ、「がん治療の最前線」をメインテーマに、江原英俊教授(泌尿器科)と久米真准教授(外科)を座長に、川部篤准教授や中嶋早苗講師をはじめとした当院の医師が、講師としてそれぞれの専門分野である胃、大腸、前立腺、肝臓、胆嚢、脾臓におけるがんの原因や生活習慣病との関わりなどについて、治療と予防の両面からわかりやすく解説しました。

「がん治療」については市民の関心度も高く、予約受付開始直後から多くの申し込みがあり、開催2週間前には受付を締め切ったほどで、当日は550名の方々に参加していただき、たくさん質疑応答も行われ、盛況のうちに終了することができました。

今後も、診療はもとより、最新の医療や予防医学の情報提供を行い、地域に役立つ医療機関を目指します。



病院ボランティアによる車イスの清掃点検

病院ボランティア支援室 藪下 勉

5月12日(木)雨の中、病院ボランティア及び岐阜医療科学大学の学生の協力のもと、車イスの点検と清掃を行いました。

車イスは美しくなり、よりいっそう患者さんに安全かつ安心してご利用いただけることと思います。

今後もボランティアの皆様のお知恵を拝借しながら、皆様とともに、来院される患者さんご家族の方に充実した「質的サービス」心の「サービス」を提供できるよう、より良い病院を目指して精進して参りたいと思います。



第1駐車場が完成しました

本年2月、病院東側に収容台数93台の第1駐車場が完成しましたのでご利用ください。

なお、利用者から駐車券が取りづらい等のご意見をいただき、駐車券発行機を少し奥へ移動させ、さらに満車表示灯も道路から確認しやすい位置に移動させました。



総合健診センター 副センター長
出口 富美子

平成6年に総合健診センターが開設されて17年が経過しました。初年度1,500人ほどだった受診者も近年は1万人を超え、大変多くの方に人間ドックをご利用いただき、誠にありがとうございます。貴重なデータも蓄積しており、皆様の健康管理の一助になればと考え、このたび健診成績などを報告させていただくことになりました。2010年の人間ドック受診者は11,702人(男女比は3対2)、追跡調査によって確認された癌は36例です。その内訳は大腸癌11(早期7、進行1、詳細不明3)、前立腺癌5、胃癌4(早期3、進行1)、腎臓癌4、肺癌3、乳癌3、卵巣癌・膀胱癌・肝癌・甲状腺癌・胆嚢癌・膵臓癌が各1でした。現在、総合健診センターでは火曜から金曜まで毎日50名、月曜と土曜日は30名の人間ドック、月曜の午後には40名の一般検診、特定保健指導・禁煙外来など様々な業務を行っております。来年1月には西館1・2階に移転する予定であり、広くなった新しい施設でゆったりと健診を受けていただけることと思います。

オプション検査件数

上部消化管内視鏡検査	1,164
乳癌検査	2,777
子宮癌検査	2,191
頭部MRI検査	584
胸部CT検査	190
腹部CT検査	100
骨塩定量検査	578
喀痰検査	279
動脈硬化検査	315
腫瘍マーカー検査	3,915
栄養相談	945

メタボリックシンドローム

男性	11.4%
女性	1.3%
全体	7.4%

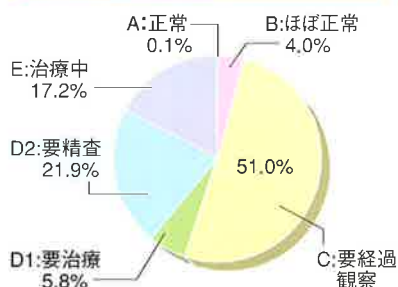
生活習慣病

脂質異常症	43%
肝機能障害	20%
高血圧症	21%
糖尿病	16%

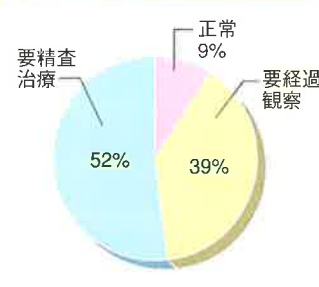
要精査指示率

上部消化管X線検査	6.9%
便潜血検査	5.4%
腹部超音波検査	2.6%
眼底検査	2.1%
胸部X線検査	0.8%
心電図検査	0.6%

総合判定



口腔検診 受診率=1385/3240=43%



シリーズ医食同源 NO.9
腎臓食 栄養管理室 高橋 貞子

腎臓食のポイント

- 蛋白質(肉、魚、卵、大豆製品)を控える
- 塩分を控える
- エネルギーは適量を十分にとる(上手に糖、澱粉、油の利用をする)



お手軽な腎臓食を紹介します。

レタスチャーハン

(エネルギー457kcal 蛋白質6.8g カリウム170mg 食塩1.3g)
*普通のご飯180gの場合→蛋白質4.5g 低蛋白米1/25の場合→蛋白質0.2g

材料 1人分	作り方
むきえび(かに缶).....20g	1 ねぎ、ピーマン、カラーピーマンを細かめに切る。
卵.....25g	
ねぎ.....10g	
ピーマン.....5g	
カラーピーマン.....5g	2 卵は油でふわっといためて取り出す。
レタス.....10g	
低蛋白米1/25.....180g	3 ねぎ、ピーマン、カラーピーマン、むきえび、あたたかのご飯をいため味をつける。
ごま油、油.....8g	
ごしょう.....少量	
からスープの素.....1g	
減塩しょうゆ.....4g	4 切ったレタスを混ぜ合わせる。

長いもと大根の梅あえ

(エネルギー28kcal 蛋白質0.9g カリウム186mg 食塩0.4g)

材料 1人分	作り方
長いも.....30g	1 長いもと大根はせん切りにし和える。
めんつゆ.....2g	
大根.....20g	
りんご酢.....4g	
はちみつ梅干.....3g	2 青しそをのせる。
青しそ繊切.....1g	

ももゼリー (エネルギー63kcal 蛋白質0.3g カリウム40mg 食塩0g)

材料 1人分	作り方
もも缶.....50g(ミキサー使用)	1 粉ゼラチンを50mlの水に浸す。
砂糖.....5g	
粉ゼラチン.....1g	
	2 ミキサーにかけたもも缶、砂糖、湯せんで溶かした粉ゼラチンを含むせ冷蔵庫で冷やす。



診療医ご案内

(平成23年7月1日現在)



診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	加藤(隆)	下村 (非常勤)	大洞	高野	宮脇 藤
	予約診	加藤(隆)	大洞	小島	加藤(隆)	奥田	加藤(隆)
	予約診	小島	高野	宮脇	吉田	福田	—
	予約診	—	遠藤	—	—	—	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		後藤(芳)	大野 (腎臓内科)	後藤(芳)	松岡 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	—	—	—
糖尿病・内分泌内科		猿井	武田 井	武田 佐々木	猿井 佐々木	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		野木	栗林	舟口 (非常勤)	三上	栗林	三上
外科		森	久米	久米	中嶋	川部	担当医
		上田	川部	(上田)	森	中嶋	山本 (第2・4週目)
乳腺外科	初診 予約診	櫻木 (細野)	細野	安部 (非常勤)	細野	櫻木 (細野)	細野 (予約制)
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤	郭
		安藤	加納 本	安藤	辻本	—	加納 山下
整形外科	初診	日下・河合	青芝・山賀	塚田	後藤(毅)	前田	担当医
	予約診	後藤(毅)	今泉	前田	河合	大友	今泉 (第1・3週目)
	予約診	—	塚田	日下	山賀	日下	日下・塚原 (第2週目)
	予約診	—	—	青芝	塚原	今泉	—
眼科	初診	高橋	矢田	矢田	矢田	奥村 (非常勤)	矢田 (第1・3週目)
	1診	堀尾	磯部 (非常勤)	奥村 (非常勤)	堀尾	高橋	高橋 (2・4・5週目)
泌尿器科		江原	伊藤 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	—	安田 (非常勤)	藤本	藤本	—
歯科・口腔外科		村松・本橋 —	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

[ご案内] ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

[予約診療について] (初診の予約診療は行っていません)

	予約・予約変更連絡先	予約変更受付時間(曜日)
●総合内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・循環器内科、呼吸器内科	(058) 253-8001 (代表)	13:00～15:00 (月～金曜日)
●糖尿病・内分泌内科	(058) 253-8001 (代表)	9:00～12:00 (月～土曜日)
●外科・乳腺外科	(058) 253-9920	13:00～15:00 (月～金曜日)
●脳神経外科	(058) 253-9921	9:00～13:30 (月～金曜日)
●整形外科	(058) 252-5223	13:00～15:00 (月～金曜日)
●眼科	(058) 253-9931	13:00～15:00 (月～金曜日)
●泌尿器科	(058) 253-8001 (代表)	8:30～15:00 (火・金曜日)
●婦人科(初診・再診ともに予約をおとりください。)	(058) 253-8001 (代表)	14:00～16:30 (月～金曜日)
●歯科・口腔外科	(058) 252-6947	8:30～16:30 (月～金曜日) 8:30～12:00 (土曜日)

朝日大学 村上記念病院 [病院機能評価認定病院]
[人間ドック・健診機能評価施設]

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>